





# 海興いよ／＼

刷新の鉈を揮ふ？

事業の縮少に次ぎ

## 龍江専務取締引退

前號所報、大正六年創立以來當ブラジルに廿萬近の移民を送り更にチリ・ペルー等の南米一帶及びフカリッビン、南洋等に移民を送るほか開發事業を起して來た海外興業株式會社は、之等廣汎に亘る事業を縮少して主力を伯國に集注し、小さく堅く進まると資本金五百萬圓を半減したが、この程龍江専務取締役が任期満了で引退するに及び之を機會に人事の上にも一大刷新の鉈が揮はれるることになった模様である

龍江氏は東祐を代表して專務取

補役の椅子を占めるこ四年井

上前社長を輔佐して海興を切り

もりし從來の事業方針なども

實に同氏の手中に出でたとも云

はれるが、事業範圍の縮少に次

ぐ同氏の引退は海興の人事に大

移動な思はせ、事實海興もこれ

な機會に大刷新的な模様であ

る

# 美し、同胞愛 汗で滿蒙の兵慰問

ラ・セツカ植民の美舉

波濤萬里遠く祖國を離れて益々愛

國の赤んぼは強し、分けても内に

外に祖國非時の聲を聞く現今在

留同胞の胸にはひしひしそ追るものがある、去る天長の佳節女じ者

年會をさへ、去月廿四日には大聯

合運動會を開催する事近來めつき

り男女青年兒童の意氣を高唱して

來たソロカバナ、船ランシナ、ナラゴア、セツカ植民地では、酷寒

の滿蒙に鍛えること同胞の辛苦に一

入涙し慰問金贈呈と思ひ立つて身

を以て立つ兵士を慰むるには汗の

結晶に勝るものなしとして一日の

休みを利用して兒童青年に植花採

り年会をさへ、去月廿四日には大聯

合運動會を開催する事近來めつき

り男女青年兒童の意氣を高唱して

來たソロカバナ、船ランシナ、ナラゴア、セツカ植民地では、酷寒

の滿蒙に鍛えること同胞の辛苦に一

入涙し慰問金贈呈と思ひ立つて身

を以て立つ兵士を慰むるには汗の

結晶に勝るものなしとして一日の

休みを利用して兒童青年に植花採

り年会をさへ、去月廿四日には大聯

合運動會を開催する事近來めつき

り男女青年兒童の意氣を高唱して

來たソロカバナ、船ランシナ、ナラゴア、セツカ植民地では、酷寒

の滿蒙に鍛えること同胞の辛苦に一

入涙し慰問金贈呈と思ひ立つて身

を以て立つ兵士を慰むるには汗の

結晶に勝るものなしとして一日の

休みを利用して兒童青年に植花採

り年会をさへ、去月廿四日には大聯

合運動會を開催する事近來めつき

り男女青年兒童の意氣を高唱して

來たソロカバナ、船ランシナ、ナラゴア、セツカ植民地では、酷寒

の滿蒙に鍛えること同胞の辛苦に一

入涙し慰問金贈呈と思ひ立つて身

を以て立つ兵士を慰むるには汗の

結晶に勝るものなしとして一日の

休みを利用して兒童青年に植花採

り年会をさへ、去月廿四日には大聯

合運動會を開催する事近來めつき

り男女青年兒童の意氣を高唱して

來たソロカバナ、船ランシナ、ナラゴア、セツカ植民地では、酷寒

の滿蒙に鍛えること同胞の辛苦に一

入涙し慰問金贈呈と思ひ立つて身

を以て立つ兵士を慰むるには汗の

結晶に勝るものなしとして一日の

休みを利用して兒童青年に植花採

り年会をさへ、去月廿四日には大聯

合運動會を開催する事近來めつき

り男女青年兒童の意氣を高唱して

來たソロカバナ、船ランシナ、ナラゴア、セツカ植民地では、酷寒

の滿蒙に鍛えること同胞の辛苦に一

入涙し慰問金贈呈と思ひ立つて身

を以て立つ兵士を慰むるには汗の

結晶に勝るものなしとして一日の

休みを利用して兒童青年に植花採

り年会をさへ、去月廿四日には大聯

合運動會を開催する事近來めつき

り男女青年兒童の意氣を高唱して

來たソロカバナ、船ランシナ、ナラゴア、セツカ植民地では、酷寒

の滿蒙に鍛えること同胞の辛苦に一

入涙し慰問金贈呈と思ひ立つて身

を以て立つ兵士を慰むるには汗の

結晶に勝るものなしとして一日の

休みを利用して兒童青年に植花採

り年会をさへ、去月廿四日には大聯

合運動會を開催する事近來めつき

り男女青年兒童の意氣を高唱して

來たソロカバナ、船ランシナ、ナラゴア、セツカ植民地では、酷寒

の滿蒙に鍛えること同胞の辛苦に一

入涙し慰問金贈呈と思ひ立つて身

を以て立つ兵士を慰むるには汗の

結晶に勝るものなしとして一日の

休みを利用して兒童青年に植花採

り年会をさへ、去月廿四日には大聯

合運動會を開催する事近來めつき

り男女青年兒童の意氣を高唱して

來たソロカバナ、船ランシナ、ナラゴア、セツカ植民地では、酷寒

の滿蒙に鍛えること同胞の辛苦に一

入涙し慰問金贈呈と思ひ立つて身

を以て立つ兵士を慰むるには汗の

結晶に勝るものなしとして一日の

休みを利用して兒童青年に植花採

り年会をさへ、去月廿四日には大聯

合運動會を開催する事近來めつき

り男女青年兒童の意氣を高唱して

來たソロカバナ、船ランシナ、ナラゴア、セツカ植民地では、酷寒

の滿蒙に鍛えること同胞の辛苦に一

入涙し慰問金贈呈と思ひ立つて身

を以て立つ兵士を慰むるには汗の

結晶に勝るものなしとして一日の

休みを利用して兒童青年に植花採

り年会をさへ、去月廿四日には大聯

合運動會を開催する事近來めつき

り男女青年兒童の意氣を高唱して

來たソロカバナ、船ランシナ、ナラゴア、セツカ植民地では、酷寒

の滿蒙に鍛えること同胞の辛苦に一

入涙し慰問金贈呈と思ひ立つて身

を以て立つ兵士を慰むるには汗の

結晶に勝るものなしとして一日の

休みを利用して兒童青年に植花採

り年会をさへ、去月廿四日には大聯

合運動會を開催する事近來めつき

り男女青年兒童の意氣を高唱して

來たソロカバナ、船ランシナ、ナラゴア、セツカ植民地では、酷寒

の滿蒙に鍛えること同胞の辛苦に一

入涙し慰問金贈呈と思ひ立つて身

を以て立つ兵士を慰むるには汗の

結晶に勝るものなしとして一日の

休みを利用して兒童青年に植花採

り年会をさへ、去月廿四日には大聯

合運動會を開催する事近來めつき

り男女青年兒童の意氣を高唱して

來たソロカバナ、船ランシナ、ナラゴア、セツカ植民地では、酷寒

の滿蒙に鍛えること同胞の辛苦に一

入涙し慰問金贈呈と思ひ立つて身

を以て立つ兵士を慰むるには汗の

結晶に勝るものなしとして一日の

休みを利用して兒童青年に植花採

り年会をさへ、去月廿四日には大聯

合運動會を開催する事近來めつき

り男女青年兒童の意氣を高唱して

來たソロカバナ、船ランシナ、ナラゴア、セツカ植民地では、酷寒

の滿蒙に鍛えること同胞の辛苦に一

入涙し慰問金贈呈と思ひ立つて身

を以て立つ兵士を慰むるには汗の

結晶に勝るものなしとして一日の

休みを利用して兒童青年に植花採

り年会をさへ、去月廿四日には大聯

合運動會を開催する事近來めつき

り男女青年兒童の意氣を高唱して

來たソロカバナ、船ランシナ、ナラゴア、セツカ植民地では、酷寒

の滿蒙に鍛えること同胞の辛苦に一

入涙し慰問金贈呈と思ひ立つて身

を以て立つ兵士を慰むるには汗の

結晶に勝るものなしとして一日の

休みを利用して兒童青年に植花採

り年会をさへ、去月廿四日には大聯

合運動會を開催する事近來めつき

市「カーム、それぢやアねまへり  
本當に改心して、是からは悪い事  
などねはき云ノのか」

石「疑ひ深けぬだな、兄イ、こ  
れを見てくんねぬ……」

云ひつ、左の小指を口に入れれた  
がまこふさ、力一杯に噛み切は  
血の滴たるやつをポンと市兵衛の  
まへに放り出し、

石「これで疑ひが晴れるだら？」

云はれて市兵衛、ゲツニ石松の  
顔をその噛切った小指を見てあ  
たが、

市「おまへは何だつて指を切るん  
だ改心したら改心して宜いぢや  
アねぬか、何も不具になつてまで  
もその心を見せる事はながらう」

石「イヤさうぢやアね、當にな  
らねのが人心、歴許口で云つた  
所で、その證拠を見れば内は、わ  
まへだつて本音にほしながらう、  
そこでこんな事などしたがこれで兄  
弟ぶんになつてくれ」

石松、心から喜まつて、市兵衛  
と兄弟になる事となつた。

市兵衛は、石松に是なら心を入  
れ込む事はありませんから御安心  
なさいまし」と其左エ門に會つて二  
人は兄弟分の顔をなする。

市兵衛は年下ではあるが、兄、石  
松が弟分、二人は白い歯を見てそ  
の目は別れる。そこで市兵衛は住  
屋に来て

市「石松はもう家へ無理難題を  
上げた男だ、怠ういふ男なれ雪の  
婿にした、定めし家も豊昌する  
だらう」と思つたから、それこそな  
く市兵衛の心を引いて見る。が此  
方は江戸へ出て一廉の人物になる  
までは女房はおちたくない云ふ  
で仕方がないからその儘にしてし  
まつたがこの事あつて市兵衛の名  
は一時に近村に知れ、親分々々と  
云はれ、ましく評判が良くなる  
所での雪の病氣はもう治りさうな  
ものが却々治りません。それで  
は餘病が出たのではない、かと醫者  
を呼んで診せたが、別段これが悪  
いといふ所もない、ではどんな病

一龍齋貞喬演  
北富三郎書  
氣だらうさ不思議の中に十日ばかり経つた。三十一日日の事、市兵衛の許へ母母の内村が訪れて、娘さんの病氣が變へてすから来てみて下さい。云つて來たから早速市兵衛は籠屋に来て其左門に會つた市「旦那、お雪さんの病ひは何うでござります」  
其「ハイ能う尋ねて來てくれましたが、枕邊に處して床に就いてありますよ」  
其「エ、どうも困り切つて居ります」  
市「さうでさう、一般病氣は何人でさう」  
其「さあ、それが知らないので、染な呑ませる事も出来ない」  
市「何か憑てもあるんぢやあございませんかね」  
其「そんな事はあるまいと思ふが……」  
市「イヤそれは判られぬ、まあまあ一つね雪さん見る事ふ事にしませう……」  
市「何が憑てもあるんぢやあございませんかね」  
其「コレは判られぬ、まあまあ一つね雪さん見る事ふ事にしませう……」  
市「何が憑てもあるんぢやあございませんかね」  
其「コレは雪や、市兵衛親分がれ出でなすつたよ、起きたな」とさきに現れる。  
市「イヤ旦那、折角寝てるものだ、その儘にして置いたが宜うござんせう……」  
其「コレは雪や、市兵衛親分がれ出でなすつたよ、起きたな」とさきに現れる。  
市「イヤ旦那、折角寝てるものだ、その儘にして置いたが宜うござんせう……」  
其「コレは雪や、市兵衛親分がれ出でなすつたよ、起きたな」とさきに現れる。  
市「どうだれ、少しは氣分が宜うござんせう、病ひは氣からさか云ふから氣を確り持ちなせよ、さうりやお病ひの方で落處して逃げ出すやうな事になりますから」  
市「ハイ……」答へた儘、市兵

聖州六月の農業暦  
馬鈴薯の収穫と棉花の剪樹

The image shows a horizontal newspaper clipping from the 'CASA FUCHS' newspaper. The main headline reads 'ゼツリーナ郡内の土地' (Land in the Zetserina District) and includes a note '(ランス行政区)'. Below the headline, there is a detailed description of the land's history and current state. The text is in Japanese. To the right of the text is a black and white illustration of two men in traditional Japanese athletic gear (yudo or sumo) engaged in a struggle.